

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年9月11日 No.76

2010年NPT再検討会議へ「核兵器のない世界を」署名の飛躍を

新署名に大きな反響

【長崎】 6日～9日署名合計595筆

長崎では、9月6日に県原水協、7日は長崎原水協、9日は県原水協が午前中平和公園で、夕方は県と長崎原水協が浜の町大丸前でそれぞれ行い、3日間4回の署名数は合計595筆でした。「今年から新しく始めた署名です。国連へとどけます」と呼びかけると次々足を止めて署名してくれました。



平和公園では、韓国からの旅行団が列をなして署名、平和学習で平和公園を訪れた橘中学の生徒たちも次々に署名しました(写真左)。浜の町でも、市民の関心は高く、高校生や婦人の署名が目立ちました。(写真上)参加者からは「市民の反応が違うネ」「対話が出来て楽しい」などの声がよせられました。署名参加者の3日間の延べ人数は、38人でした。

【熊本】 2日間、各30分で計949筆

熊本県原水協は9月6日、9日に6・9行動を行いました。いずれも30分の行動でしたが反応・関心は上々で、6日は18人の参加で608筆、9日は15人の参加で341筆を集めました。横断幕を新調し、新署名を熊本版・家族署名に作り変えて、2010年にNPT再検討会議があること、この場所で12年以上も毎月6・9行動を続けていることなどの訴えに、快く署名に応じてくれました。特に6日は土曜日ということもあり、高校生が列をなして署名していました。

熊本では、6・9行動にとどめず、草の根や各団体でも10月末までの第一の署名の波を起こそうと、機関紙に折り込んだり、街頭署名行動の参加を増やしたりなどのとりくみが始まっています。

【愛知】 20人こえる青年が被爆体験を聞き撮り

被爆体験の聞き撮りプロジェクト(通称「ききプロ!」)は6日、豊橋市で第2回行動を実施し、20人を超える青年が広島・長崎被爆者7人の聞き撮りを行いました。

被爆者の姿と思い、被爆の実相を聞き撮るこの企画には、被爆者9人と青年を中心に34人が参加。2グループに分かれて行われました。こうした規模で聞き撮りが行われたのは豊橋では初めてです。被爆した当時の様子、その後の人生、いまの思いなどが、それぞれ語られました。

マレーシア原爆展代表団にご参加を

日程:10月22日～30日(予定) 規模:30人

参加費18～20万円(予定) 締め切り:9月30日(予定)